様式第２号（第６関係）

共創チェックリスト

|  |  |
| --- | --- |
| 部課室名 |  |

　　1 社会的批判を受けない者の選定を行っている

|  |  |
| --- | --- |
| 確認方法 |  |

※共創相手が社会的批判を受ける者ではないか、相手方との対話やインターネットによる調査などの常識的・現実的な方法で確認。（反社会的勢力の排除に関する条項を含む）

　　2 必要性・適正性・役割等あらゆる観点から検討を行うとともに、必要に応じて外部の者の視点も取り入れている

|  |  |
| --- | --- |
| 詳細 |  |

　　3 役割や責任、リスクを明確にし、双方合意のもと進めている

|  |  |
| --- | --- |
| 県の役割 | 相手方の役割 |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 県の責任 | 相手方の責任 |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 想定されるリスク | 左への対応 |
|  |  |

※リスクを「ゼロ」にすることはできないが、リスクを認識した上でインシデント（事件・事故）が発生しないよう配慮して事業遂行にあたること。

　　4 補助金等の財政支出が生じる場合、法令等に基づき適切に処理している

|  |  |
| --- | --- |
| 詳細 |  |

　　※関係法令等を記載

5 県として予期せぬ人的・財政的負担等が生じないよう検討を行っている

|  |  |
| --- | --- |
| 詳細 |  |

　　6 相手方からリソースの提供を受ける場合、相手方の意欲反映に努めている

|  |  |
| --- | --- |
| 詳細 |  |

　　7 県としての公益性及び相手方の利益の双方が両立する互恵的関係を構築している

|  |  |
| --- | --- |
| 県の利益（公益） | 相手方の利益 |
|  |  |

　　8 重要情報の外部への提供のあり方等について、事前に相手方と取り決めている

|  |  |
| --- | --- |
| 詳細 |  |

　　9 事業の目的等を明確にするため、相手方と定期的に対話等を行っている

|  |  |
| --- | --- |
| 詳細 |  |